

令和7年度第2回大阪府立少年自然の家指定管理者評価委員会 議事概要

- 日 時：令和8年2月17日（火） 15：00～16：30
- 場 所：大阪府庁分館A棟2階 共用会議室
- 委員出席：5名（佐井委員長、有田委員、杉本委員、河野委員、蓬田委員）

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事

- ◆ 令和7年度大阪府立少年自然の家指定管理運営業務の評価について
事務局より「令和7年度指定管理運営業務評価票」の説明

<質疑応答>

委 員 長：ただいま説明がありました施設所管課の評価を受け、質問や提言等がございましたらお願いいたします。

委 員：利用者数や宿泊者数が減った要因としてバスが借りられなかったということがあったと思います。そんな中で府立海洋センターは増えていると聞きました。海洋センターは電車で行けるので、もしかするとバスが取れなくて、やむを得ず電車で移動したのではないかと思います。それに伴って聞きたいのは、バスの確保困難を理由にキャンセルされた学校は、行事自体を取りやめたのか、あるいは代替で違うところに行ったのか、そのあたりについて何か聞いていますか。

指定管理者：聞いたりはしていませんが、今おっしゃられたように、海洋センターは公共交通機関で行けるので増えたという話は存じ上げています。また、少年自然の家に来ていた方たちが海洋センターに行ったという話も存じ上げています。

委 員：この委員会だけでみると減っていますが、大阪府全体の自然体験活動ということであれば、他施設に行ってそちらは増えているということが予想されると思いました。そういう外的要因によって学校が行事を見直してなくなる方向なのか、あるいは代替の場所を探しているのか、それとも来年はまた戻ってくるのか、そのあたりの状況はどのような感じでしょうか。

指定管理者：来年の予約情報は元通りに戻っています。

委 員：今年度はバスが取れなかったけど来年度は取れるので来たい、予約がはいっているということですね。

指定管理者：当施設が府立施設でいうと山で、海洋センターが海なので、交互に来る学校も多い。

委 員 長：他施設でも今年度は万博の影響で利用者数が減ったということを知りました。評価を見ていると目標値に比べて実績が低かったからC評価となっていますが、万博の影響を考えて目標値の設定をしなかったんですかね。

事 務 局：目標値は参考資料1にあるように昨年度と一昨年度の数値をもとに決めており、この数値は10年前の公募時の提案書の目標数値となっています。今年度が10年の指定期間の最終年となっており、今年度だけ設定基準を変えるということではできませんでした。

委 員 長：最初に目標を設定しても環境が変わったら、1年ごとに見直しを行ったりすることがあると思います。今回、万博の影響を考慮せずに目標値を設定してC評価になっているのは個人的に気の毒だと思いました。

事務局：来年度から指定期間2期目となりますので、目標値の設定基準等を改めて決めていくこととなりますので、その際にただいまのご意見を参考にさせていただいて、検討させていただければと思います。

委員：少年自然の家さんが自主事業を頑張ってくださいていることは評価しているんですけども、損益を良くしようということを考えると「利用料金収入」、「食堂収入」、「管理運営事業の活動系事業収入」を頑張ってくださいたいです。人件費や光熱水費、原材料費などはこちらに限らず世間として高騰しているの、仕方ないですが、利益を残すために収入を上げようと思うと、自主事業より、利用料金収入などであげる方が効率は良いと思います。

また、先ほどの目標値の話ですが、万博があったから計画が大幅に狂ってしまったというのはそれはそれでしょうがないと思います。事業会社でもそうなんですけど、今年は苦しうだから計画を低く設定して計画を達成できたからよいかと言われるればそれは違う話なので、計画は分析するときに、万博の影響で仕方がなかったとわかれば良いと思います。

リスクの面で施設の維持管理はとても大切だと考えています。評価票の(4)②はSとなっていますが、漏水がまだ続いているんですか。また修繕費もたくさん出したからいいというわけではなくてやらなければいけないことは漏水を止めることなので。漏水はなかなか止まらないことは知っていますが。

指定管理者：漏水は今は改善しております。長引いた原因が、検査のために休所しなければならぬということ、お客様のいない期間がなかなかなく、休所できなかったことにあります。また調査が1回で終わればよかったのですが、時間を要してしまったので。

事務局：調査は積極的にして下さっていたんですけど、問題箇所が業者でさえも見つけられなかったということです。

委員：わかりました。

委員：これは次年度からになると思うのですが、評価票の自己評価には評価基準ごとの評価がなく、どのようにそれぞれの項目を評価しているのか疑問があるので、自己評価される際にも評価基準ごとの評価をする方がいいのではないかと思います。

また各項目ごとの評価ですが、それぞれの内容・重みが、評価項目が多いところ少ないところで違うと思うので単純計算で割り算するのが本当に評価として正しいのかと思うので、テーマごとの重要性である程度、割り振りした方がよいと思います。

委員長：おっしゃられたように項目全部が同じ重みなのかと言われるとメインのものと補助的なものがあるので、次回に向けて事務局の方で検討をお願いします。

事務局：ありがとうございます。

委員：評価票2ページの広報・情報発信の項目でチラシの配布について書かれていますが、学校へはチラシやポスターを配布していますか。

指定管理者：学校へは通郵便を活用していますが全部は送っていません。

委員：学校でチラシやポスターを見たことがないと思ひまして。学校で子どもたちが見たら、おうちの人に行きたいみたいな形で来るのではないかと思ひます。特に近隣、泉州地区などであれば。

指定管理者：今年度もオープンデーに関しては貝塚市で配布しました。

委員：貝塚以外にもきつと宣伝した方がいいと思ひます。せめて泉州地区や泉南地区など。ポスター1枚でもいいので貼ってて行事とか書いていけば行くのではないかなと思ひます。見たことがないので。

指定管理者：ありがとうございます。

委員：万博の関係に関しては、海洋センターが増えていたという話がありましたが、学校としては海洋センターに行くのと、少年自然の家に行くのでは目的が全く違ひます。全然活動も違ひるので、どこでもいいわけではなくて、目的を決めてそれに合わせて活動している。今回海洋センターに流れたからと言ってもう自然の家に帰ってこないということはないと思ひます。

委員：学校や青少年利用ではなく、一般の利用者や団体の利用はどうですか。

指定管理者：上半期から中盤にかけては学校利用が多いが、下半期は企業などの研修での利用が多い。現在も体操教室の先生の研修の利用が3週間入っている。

委員：おうちの方が懐かしくて家族で利用するといったような、ファミリーでの利用とかはどうですか。

指定管理者：ファミリー向けには連休等でお泊りパックというものを設定して、プログラム等を用意し、利用していただいている。

委員：自然の家の中だけで完結するものもよいと思ひますが、例えば自然の家に宿泊して、次の日は自然の家からちょっと離れて、午前中は活動して、また戻ってくるというようなものもあってもいいと思ひました。そうすることでプログラムの幅も広がるのでよいと思ひました。そうすれば施設としてより魅力的になるのではないかと思ひます。また地域との連携という点でも大事なと思ひました。

委員：周辺地域含めて、パッケージツアーのようなものを大阪府として旅行会社等と連携して作成し、インフルエンサー等に宣伝していただくというのも、施設の魅力を知っていただけたら、地域の活性に繋がったりするのではないかと思ひました。自然の家だけではなくそれ以外の地域も生かせるとよいと思ひました。

事務局：ありがとうございます。

委員長：他に何かご意見はありますでしょうか。では様々な観点からご意見をいただき、ありがとうございます。まだまだいろんなご意見があろうかと思ひますが議事の進行上ここまでとさせていただきます。ただいまいただきました各評価項目のコメントにつきましては、事務局が整理し、私が確認した上で、当委員会の指摘、提言にすることで一任いただいでよろしいでしょうか。

委員：はい。異議なし。

委員長：ではこれで本日の予定しております議事は以上ですが、何か他にご意見等ございませんでしょうか。

委員：大丈夫です。

委員長：では他にご意見等はないようですので、進行を事務局へお返しします。ありがとうございました。

4 閉 会